



木津川市山城総合文化センター（アスピアやましろ）

令和6年度やましろ未来っ子みんなで HUG フォーラムについて

令和6年6月23日(日)木津川市山城総合文化センター（アスピアやましろ）で開催しました。本フォーラムでは、「様々な社会の変化に対応し、家庭・学校・地域社会の教育力を一層高めるとともに、各々の役割や活動の在り方について研修を深め、社会総がかりで子どもをはぐくむ環境づくりを推進する。」を趣旨とし、昨年度と同様に参集型で実施しました。また、各PTA（育友会）から提出していただいた昨年度の活動に係る広報誌等を、二次元コードから読み取っていただくことで、各単位PTA（育友会）の交流とさせていただきます。



横須賀会長挨拶

開会行事

開会に先立ち、山城地方PTA連絡協議会横須賀会長があいさつをされました。

- ・忙しい日々の中でも、学校・地域と手を取り合い活動することの意義
- ・子どもたちを取り巻く環境が複雑多岐になった状況だからこそ、社会総がかりで子どもに目を向けることの重要性

等を話されました。また、本フォーラムが今後のPTA（育友会）の活動について考えていただく機会になればとのお言葉をいただきました。

講演

「AI 時代の子どもたちの『才能・能力』の引き出し方

～ウェルビーイングに生きるために～

一般社団法人 教育デザインラボ
代表理事 石田 勝紀 様



「子どもたちがウェルビーイングでいるため」の大人からの言葉掛け等の具体的な働きかけについて、参加者にもわかりやすく話していただきました。

- ・「思考力（考える・表現する）」を高める働きかけについて。
→「なぜだろうね？」「どう思う？」
- ・「クリエイティビティ（創り出す・長所）」を伸ばす働きかけについて。
→短所ではなく、長所を伸ばすことを最優先にする。
→「どうすればいいと思う？」
- ・「自己肯定感」を高める働きかけについて。
→今の“まま”でいいという感覚で子どもに接する。
→「わからないこと」「できないこと」は、教えてあげるだけ。
→日常の声かけをネガティブからポジティブへ。
→自己肯定感を満たす魔法の言葉
【承認】「すごいね」「さすが」 【感謝】「ありがとう」「うれしい」「助かった」
【感心】「なるほど」 【安心】「大丈夫」 【指摘】「らしくないね」

石田様、ありがとうございました。

令和5年度山城地方PTA連絡協議会 表彰

皆様方のこれまでの活動が山城地方全体のPTA活動の発展につながっていること等を踏まえ、感謝の意を込めて、表彰させていただきました。



表彰式の様子

薬物乱用防止・根絶アピール

京都府山城北保健所服部様にお越しいたき、以下の内容について写真やデータをもとに具体的にお話いただきました。

- ・薬物乱用とは
- ・子どもたちを取り巻く薬物の現状
- ・家庭でできる防止対策

服部様、ありがとうございました。



京都府山城北保健所 服部様

閉会行事

京都府青少年育成協会
上田会長 閉会挨拶



上田会長 閉会挨拶

開会挨拶、薬物乱用防止・根絶アピール、石田様の講演について振り返りをさせていただくとともに、少子高齢化の時代の子どもたちを心身ともに健やかにはぐくむために以下のことの重要性についてお話いただき、会を閉めていただきました。

- 「少子高齢化時代の子どもたちにできること」
- ・命を守る。
 - ・家庭を中心に自己肯定感をはぐくむ。
 - ・家庭・学校・地域の連携のもと、家庭・学校で守り切れない子どもたちを、地域を活用してみんなで守る。